

平成十四年度 佛教文学会大会
日 時 平成十四年六月一日(土)
二日(日)

会場 明治大学駿河台校舎
第一日 六月一日(土)

委員会(午後〇時三十分～一時三十分)
開会の辞(午後二時)

代表委員・京都女子大学

小椋 嶺一氏

会場校挨拶(午後二時五分)

明治大学人文科学研究所長

林 雅彦氏

公開講演会(午後二時十五分～五分)

江戸時代の遊行上人の題図

明治大学教授 圭室 文雄氏

中世以降における唱導の展開

佛教大学名誉教授 関山 和夫氏

懇親会(午後五時三十分～七時三十分)

第二日 六月二日(日)

研究発表会(午前の部)

(午前九時三十分～午後〇時三十分)

1、芥川龍之介『くもの糸』で無視された原作の主題
国立舞鶴工業高等専門学校 長尾佳代子氏

2、スタソーマ王本生譚のもうひとつの側面
小樽商科大学 中村 史氏

3、源信伝と『往生要集』の注釈書
大谷大学 北城 伸子氏

4、統祥書類従本『地藏菩薩靈驗記』底本考
東洋大学(非) 高遠奈緒美氏

総 会 (午後一時二十分～二時二十分)

研究発表会(午後の部)
(午後二時三十分～五時二十分)

5、真言僧頼縁の文学
—主として和歌をめぐる—
大東文化大学大学院 高橋 秀城氏

6、『覚鑿聖人伝法会談義打聞集』の釈と説話
立命館大学大学院 藤井 佐美氏

7、『逃れぬ御契り』考
—『とはすがたり』における仏教的

宙世観

8、明恵上人伝記の研究
—引用典籍をめぐる—
名古屋大学大学院 金 善花氏
都立戸山高高等学校 野村 卓美氏

閉会の辞
副代表委員・立正大学 小山 一成氏

平成十四年度 本部例会
◎五月十一日(土) 京都女子大学
第一部《来年度大会シンポジウム「軍記と仏教」に向けて》

総括及び進行
京都女子大学 笹川 祥生氏

研究展望「軍記と仏教」
—『軍家物語』を中心に—
四天王寺国際仏教大学 源 健一郎氏
石山合戦譚考
—軍記から信心獲得の文学へ—
本願寺派宗務所 神保 尚子氏

第二部《御室法親王の記録をめぐる—仁和寺文献調査の成果から》
総括及び進行
名古屋大学 阿部 泰郎氏

法会のことば

—『五宮御覆頂記』を始発として—
学習院大学(非) 小島 裕子氏

仁和寺文書二題—覆頂記と系圖—
古代学研究所 関口 力氏

◎京都女子大学図書館所蔵連歌関係図書特別展観「宗祇とその弟子たち」
◎九月十四日(土) 龍谷大学大宮学舎
『選択本願念仏集』と法然義
龍谷大学(非) 前田 壽雄氏

『最後臨終行儀事』について
—「高山寺明恵上人行状」との関わりを中心に—
大阪工業大学(非) 山崎 淳氏
「聖徳太子伝」における蘇我馬子像の位相
同朋大学仏教文化研究所 渡辺 信和氏

『念仏往生伝』及び隆寛の和歌
成蹊大学 浅見 和彦氏
*本部例会特別拝観シリーズ①
小椋嶺一代表委員と神保尚子本願寺派宗務所職員とのダブル解説による西本願寺特別拝観

◎十一月九日(土) 花園大学
特集《寺社縁起》
司会兼コメンテーター
花園大学(非) 菊池 政和氏
天理大学 近本 謙介氏
中世における南円堂縁起の享受
京都大学(研修員) 橋本 正俊氏
真と偽のあいだ
—縁起・伝記・偽文書をつくる—
栃木南高等学校 久野 俊彦氏
『間』のテクストとしての縁起
京都精華大学 橋本 章彦氏
講演
諸縁起にみる八幡神顕現伝承の変遷
岐阜聖徳学園大学 達 日出典氏
*本部例会特別拝観シリーズ②
宝珠山竹林寺
(長者地藏立像・竹林長者立像・同厨子など)
*花園大学歴史博物館特別展

『東海の名刹 清見寺』
平成十四年度 支部例会
◎五月十八日(土) 立正大学大崎校舎
慈円の「十如是」歌
明治大学(非) 大野 順子氏
『方丈記』序章試論
—天台の三諦説との関連において—
大東文化大学(非) 芝波田好弘氏
『紫式部集』と仏典
立正大学(非) 中野 方子氏
◎九月二十八日(土) 明治大学駿河台校舎
※説話文学会と合同
延慶本平家物語建礼門院関連記事考
明治大学(兼任講師) 小番 達氏
みにくい人々の前生話について
—インドの仏伝を中心として—
伊藤千賀子氏
鎌倉時代成立の医事説話集『医談抄』の基礎的諸問題
愛知県立大学 中根 千絵氏
◎十一月十六日(土) 駒澤大学
『持戒清浄印明』における相承と展開

大阪大学(院) 中山 一蔵氏

《愛》の意味するもの

—アヒダルマ論書における悉皆調査報告—

立正大学(非) 佐野 靖夫氏

講演

仏教と夢

—電子データ活用法のデモンストレーションを兼ねて—

駒澤短期大学 石井 公成氏

*駒澤大学禅文化歴史博物館特別開館

常設展示「禅の世界」

開校百二十周年記念特別展示

「駒澤大学の歴史」

平成十四年度

本部・支部合同例会「徳島大会」

※四国大学日本文学会との共催

日 時 十一月三十日(土)〜十二月一日(日)

会場 四国大学

テーマ 四国遍路

第一日 十一月三十日(土)

委員会(正午〜午後一時)

開会の辞(午後一時三十分)

代表委員・京都女子大学

小椋 嶺一氏

会場校挨拶(午後一時三十五分)

四国大学学長 福岡 登氏

公開講演会

(午後一時四十五分〜五時三十分)

四国八十八ヶ所の成立について

四国大学 田中 省造氏

進化する四国遍路

大正大学 星野 英紀氏

四国遍路と密教

宝仙学園短期大学 真鍋 俊照氏

懇親会(午後六時三十分〜八時三十分)

第二日 十二月一日(日)

「徳島県内文学史跡踏査」

解説 四国大学 田中 省造氏

阿波木偶廻し(国府町むつみ会館)―

御所神社―土御門上皇行宮跡―平康

頼神社―浄土寺(石井町)―井戸寺